

企救丘市民センター 「デジタル化への対応」に関する取り組み

～コロナ禍での地域づくりとコミュニケーションのあり方～

企救丘市民センター館長 安倍 ゆかり
令和4年5月19日(木)

- 1 オンライン講座
- 2 オンラインを使う上での問題点
- 3 2021おしゃべりするカフェ
- 4 スマホカフェ(スマホのよろず相談)
- 5 その他の取り組み
- 6 今後の取り組み・課題

企救丘校区

- 人口 12,662名
- 世帯数 5,807世帯 —令和2年9月—
- 高齢化率 29.9%(北九州市31%)
- 企救丘小学校 692人
- 志徳中学校 598人
- 4月 志井川の桜がとてもきれいな校区
- スローガン 「声かけて子どもの育つきくがおか」
- 子育てしやすい街を目指す



1 オンライン講座

令和2年1月から市民センター活動がストップ・・・
職員がZOOM講座や動画編集講座で学んだ
スキルを活かし、オンライン講座を開催！

①令和2年11月28日

陶芸講座

②令和2年12月 5日

ズンバ講座

③令和3年10月20日

雪印骨カルシウム講座

① おうち時間(ステイホーム)を楽しもう 「陶芸講座」



① おうち時間(ステイホーム)を楽しもう 「陶芸講座」

・オンライン講座参加 ・ヒアリングシート

- ・ ご自宅にインターネットができる環境はありますか？
- ・ ご自宅にWi-Fiはありますか？
- ・ オンライン講座で使用する機器を教えてください。
- ・ 「パソコン」とお答えした方にお聞きします。カメラとマイクはついてますか？
- ・ ※カメラとマイクが無くても参加はできます。(ズンバ)陶芸はカメラとマイク必要

① おうち時間(ステイホーム)を楽しもう
「陶芸講座」

・講師のリハーサル



① おうち時間(ステイホーム)を楽しもう
「陶芸講座」



② コロナによる運動不足解消のため
「ズンバ講座」



② コロナによる運動不足解消のため
「ズンバ講座」



③ 企業と地域をつなげる
「雪印 骨カルシウム講座」



③ 企業と地域をつなげる
「雪印 骨カルシウム講座」



2 オンラインを使う上での問題点

- ・「高齢化」と「デジタル化」が同時に進行する社会
- ・コロナ禍でネットに不慣れな人たちが取り残される

デジタルデバインド／情報格差

- ・ コロナ禍で高齢者の方が社会的孤立に陥る人が多いのは若者に比べてSNSやインターネットを利用する人が少ないことが背景にある

* 東京都健康長寿医療センター研究所の全国調査より

- ・ 令和3年5月、コロナワクチン接種予約時の混乱と情報格差解消の必要性

3 「2021 おしゃべりするカフェ」

・令和3年度 シニア対象のスマホ講座開催

ドコモ・・・6/25、7/16、7/30、10/15、10/22、11/19
11/26、12/10、12/17

元気にGOGO!生き生きスマホ講座・・・10/11、10/4

ソフトバンク・・・1/21、1/28、2/4、2/18

計15回開催！令和4年度も開催予定

4 スマホカフェ(スマホのよろず相談)

令和3年9月より毎週水曜日

職員が教える「**スマホカフェ**」開催！



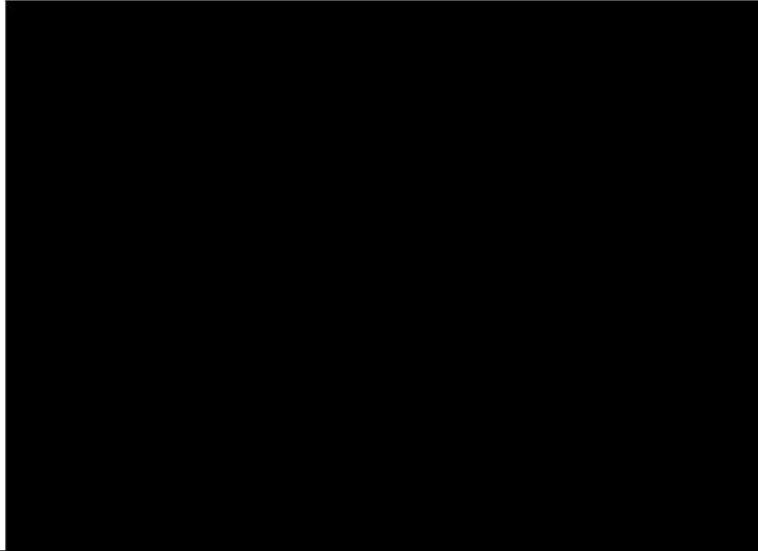


5 その他の取組み

Youtubeやホームページを利用した活動

- ① 人権地域別研修会
- ② 子育て支援・・・
きくがおかオリジナル絵本を毎月アップ

② 子育て支援・きくがおかオリジナル絵本
令和2年10月より 毎月1話 アップ



6 今後の取り組み・課題

・デジタル人材育成・

学生・シニア世代の地域参加

高齢者のスマホ利用者を増やすと共に、
学生のデジタルスキルを地域活動へ取り込む

デジタル人材育成(学生の地域参加)

- ・令和3年10月に北九州市立大学の学生が主催の「きっかふえ」を開催
- ・学生が民生委員、青パト、地域防災、環境活動をテーマに地域課題の解決を地域住民と一っしょに探った



デジタル人材育成(学生の地域参加)

- ・学生のキャリア教育
- ・地域活動が若者の目から見たらどのように映っているのかという情報収集にもなる
- ・地域の方々が自然とオンライン体験をしている、**これが重要！！**



デジタル人材育成(シニア世代)



6 今後の取り組み・課題

・高齢者がインターネットやスマホを正しく使用し、
トラブルに巻き込まれないために

デジタルリテラシーをいかにして高めるかが課題

北九州市DX推進計画 デジタル・デバインド対策

令和4年5月19日
北九州市デジタル市役所推進課

DX推進計画におけるデジタル・デバインド対策

取組の方向性

- ◆ 使い方の支援などデジタルを意識しない環境醸成
- ◆ スマートフォン活用を後押しする取組を行う
- ◆ 個人ごとの理解度やニーズに応じた学習の場を幅広く市民に提供する
- ◆ 高齢者等のデジタル技術習得を支援する地域人材を育成する
- ◆ 市民のインターネット利用率向上を目指す

取組内容

- ◆ 普及啓発
- ◆ 初心者向け講座、相談会
- ◆ 国事業との連携
- ◆ 地域人材の育成
- ◆ インターネット接続環境の充実



令和3年度デジタル活用講座

スマートフォンの操作に不慣れな方を対象に、スマートフォンの基本操作等を体験する講座を実施

【実施概要】

実施場所：市民センター25館
 実施回数：25回（90分の講座を1館につき1回実施）
 受講者数：計248名
 講師：株式会社ドコモCS九州
 講座内容：スマートフォンの基本操作、スマートフォンの詐欺について
 インターネットの使い方（音声検索、QRコード読み取り等）
 便利なアプリの紹介、防災情報の取得方法等



令和3年度デジタル活用相談会

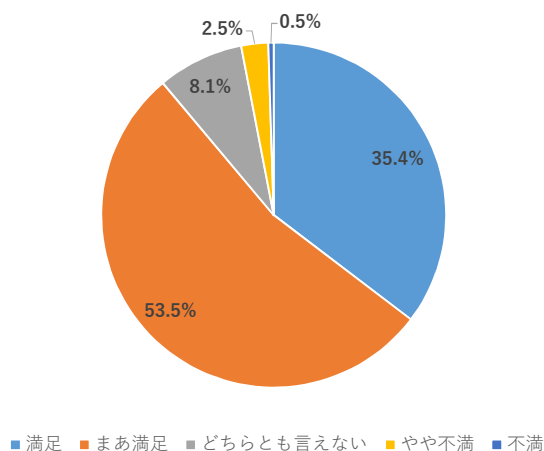
スマートフォンに関して疑問や不安を抱えている方を対象に、個々に相談を受け付ける相談会を実施

【実施概要】

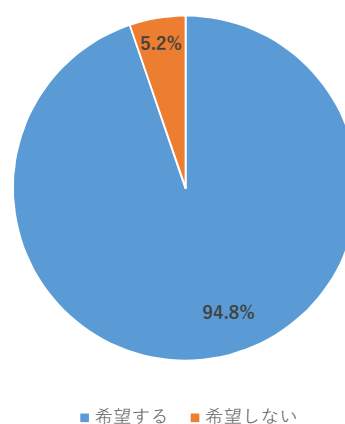
実施場所：リバーウォーク北九州「Q-station」
 実施回数：計3回（11:00～17:00）
 相談者数：計26名
 相談員：株式会社ドコモCS九州
 相談内容：スマートフォンの基本操作、メール・LINE等の使い方
 マイナンバーカードの申請方法、オンライン予約方法等



講座の満足度



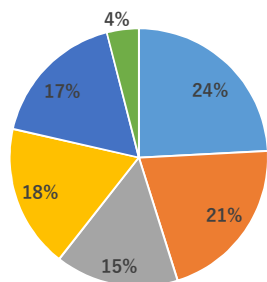
次回の参加希望





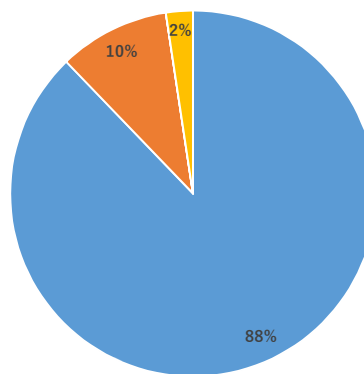
令和3年度デジタル活用講座・相談会のアンケート結果

今後できるようにになりたいこと



- 電話、メール、LINEでの連絡
- 天気やバスの時間などの調べもの
- 決済アプリを使って買い物の支払い
- インターネットでの買い物等

相談会の満足度

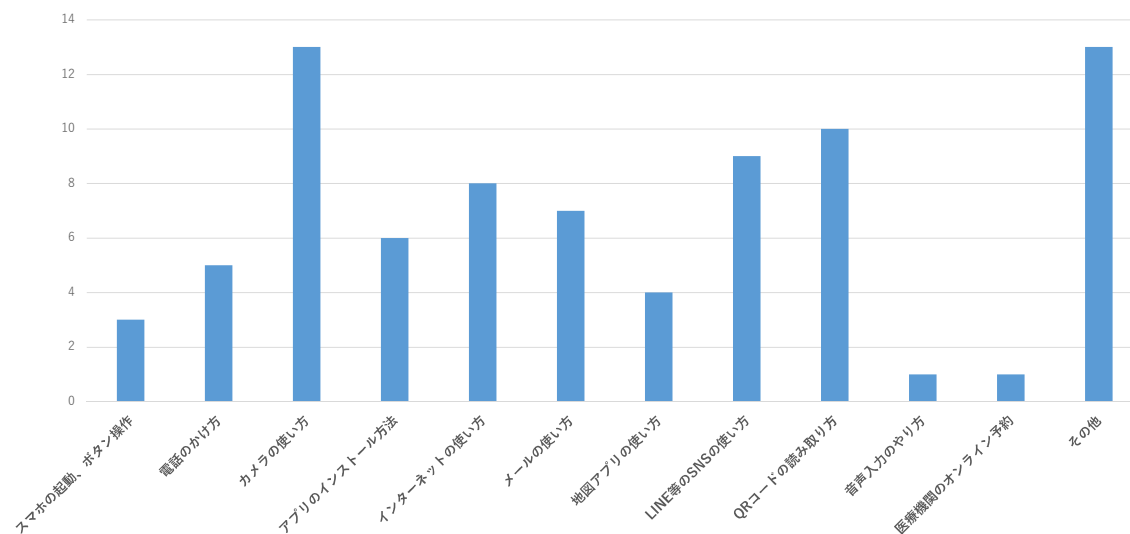


- 満足
- まあ満足
- どちらでもない
- やや不満
- 不満



令和3年度デジタル活用相談会のアンケート結果

相談内容



令和4年度デジタル活用講座

【実施概要（予定）】

実施場所：市民センター30館
実施回数：30回（90分の講座を1館につき1回実施）
実施期間：令和4年8月頃から令和5年3月まで
受講者数：各回10名程度
講座内容：スマートフォンの基本操作、スマートフォンの詐欺について
インターネットの使い方（音声検索、QRコード読取り等）
便利なアプリの紹介、防災情報の取得方法等



令和4年度は「テレビ電話体験」を講座に追加予定

- ご家族等とのコミュニケーション醸成を支援
- リモート窓口等の活用を支援

令和4年度デジタル活用相談会

今年度も同様に相談会実施を予定しているため、内容について検討を行っている

全市民センターへモバイルWi-Fiルーター整備

一般社団法人北九州ネットワークスから130台を無償提供いただき、来館者用に活用予定